



つかむ

(2) かわってきた人々のくらし

これは、60年くらい前の家のようすをさいげんしたものです。たくやくんたちは、昔のくらしのこと、知っていることや、写真を見て思ったことについて、話しました。



昔のくらしへ、今より
大変なことが多そうなイメージがあるよ。

写真を見るとせんぶうきが写ってい
るね。冬のさむい時には、どんな道具
を使っていたのかな。



火ばち

地いきの高れい者の話

わたしたちが小さかったころ、エアコンのような
べんりな電化せい品はなく、夏にはせんぶうきを使っ
ていました。また、冬には火ばちなどを使ってだん
をとる家が、まだまだ多くありました。



しりょう きょう土資料室を見学

学校のきょう土資料室を調べてみました。



なんていう道具なのかな。どうやって使う道具なのかな。

これ、おじいちゃんの家で見たことがあるよ。
使い方を教わってみたらどうかな。



たいけん 昔の道具を体験

使い方のわからない古い道具について、地いきの方に教わって、使ってみることにしました。



他にもいろいろな道具について調べると、昔のことがよくわかるんじゃないかな。

これは、せんたく板といって、せんたく機がまだなかったころは、みんなこれを使っていました。



板のぎざぎざしたみぞの部分で、布と布をこすりあわせることで、きれいによごれがおちるようにできています。

昔は、よくこれを持って、江戸川までせんたくをしに行っていました。

古い道具を使っていたころの人々のくらしは、どのようなようすだったのでしょう。

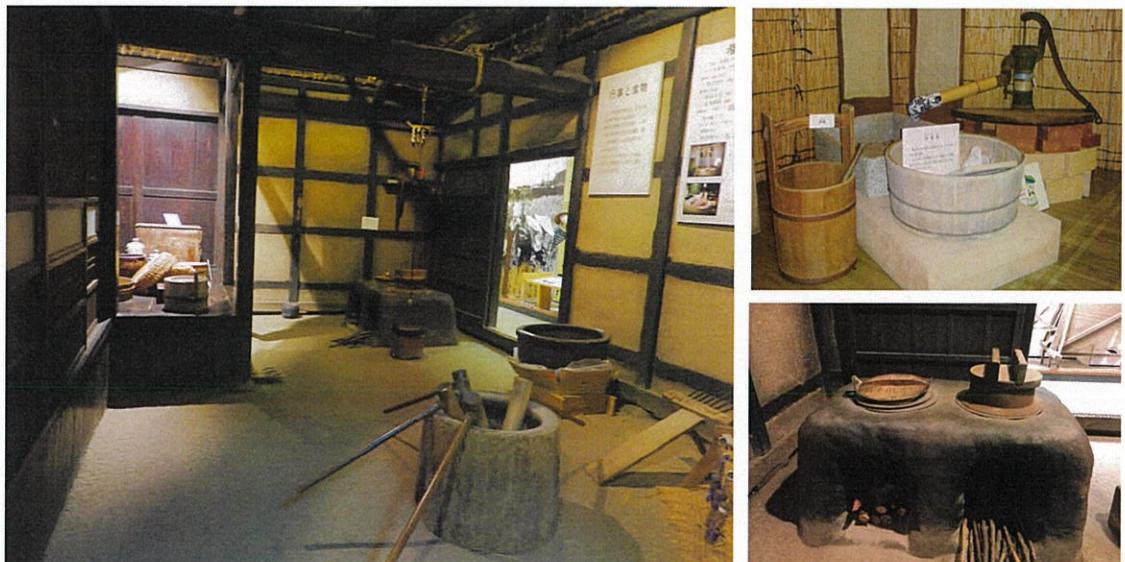


市川歴史博物館
市川市堀之内 2-27-1 ☎047-373-6351

しらべよう・みてみよう

れきしひはくぶつかん
市川歴史博物館を見学して、市の
むかし
昔のようすや人々の暮らしについて
くわしく調べることにしました。

電気がないころの暮らし



つか
電気が使えるようになる前は、どのような道具を使って暮らしていたのか調べてみました。

てんじ
展示してあるものや、がくげいんさん
の話から、当時の生活について調べ
てみましょう。

【調べるポイント】

- ①今の道具とくらべてみよう。
- ②昔の道具の工夫を見つけてみよう。
- ③どのように暮らしをしていたのか、
そうぞうしてみよう。



はん
昔は、かまどでご飯やおみそ
しるを作っていたんだって。
じょくじ 食事のじゅんびだけでも大変
へん
そうだわ。

電気だけでなく、水道もな
いど
かったから、井戸や川からくん
できた水を使っていたんだね。



しごと
家の仕事の中には、子ど
もの仕事もあったよ。家ぞ
くみんなで、力をあわせて
くらしていたんだね。

でんか ひん 電化せい品があるくらしのはじまり



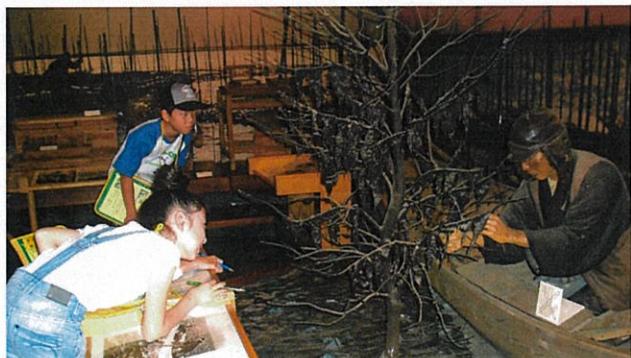
今から60年くらい前に、せんたくきや冷ぞうこなどの電化せい品が使われるようになると、人々のくらしはどのようにかわっていったのか調べてみました。

せんたくきにハンドルの
ようなものがついている
よ。何のために使うのかな。



生活の道具がべんりになっ
てくると、生活の仕方もかわつ
ていったんじゃないかな。

昔の市川のようす



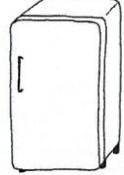
館長さんの話



歴史博物館には、一万点以上の資料や道具があります。塩作りや稻作を行っていたころの人々の生活や、古くからつたわる行事などが調べられますので、ぜひ学習に役立ててください。また、博物館で見たことを、町の中でさがしてみるのもよい学習になりますよ。

まとめよう・つたえよう・いかそう

市のように人々のくらしのうつりかわりについて、年表にまとめてみましょう。

		およそ100年前	80年前～50年前
人々のくらしと道具	洗たく	 <p>ざざざしたみその部分でよごれをあとす 川までせんたくに行っていた人もいた。</p>	 <p>ローラーを使って、水をしぼることができる</p>
	すい飯	<p>かまどで火をおこしてご飯をたく</p>	 <p>電気やガスを使ってご飯がたけるようになった</p>
	冷ぞうこ	<p>こおり 大きな氷を使って冷やす 氷は、氷屋まで子どもが買いに行くこともあつたらしい。</p>	 <p>電気を使って冷やす</p>
市のようすのうつりかわり	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 水田や塩田が広がっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 市川町・八幡町・中山町・国分村がいっしょになつて市川市といつしょになった。 大柏村・行徳町・南行徳町が、順に市川市といつしょになった。 工事がはじまつた。 行徳海岸のうめたて 大野や大町で、梨作りがさかんにおこなわれるようになつた。
	鉄道や道路	<ul style="list-style-type: none"> 京成電鉄が、市内にはじめて電車を走らせた。 	<ul style="list-style-type: none"> 京葉道路ができた。 東西線が開通したが、まだ妙典駅や南行徳駅はなかった。



こうやって見てみると、市川市のようすや人々の生活が、大きくかわってきたことがわかるね。

道具がかわってくると、生活もかわってきたんだね。



外かん自動車道ができる、また市のようすがかわってきたって、おうちの人人が言っていたよ。



これから先、どのようにかわっていくのかな。

しら

調べたことをせいりして、年表にしてみました。

50年前～20年前

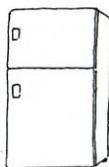
みんなが生まれ育ったころ



せんたくとだっ水を
それぞれ行う



電気を使ったさまざま
な道具が使われるよう
になると、生活の仕方
もかわってきた。



冷とう室が
できた



いろいろな機能が
ついたものがあり、生活の仕方や
好みにあわせて、
えらべるように
なった。



道具の使い方だけでなく、
その道具を使っていたころの
生活について、聞いたことや
調べて分かったことなども
いっしょにまとめておくと、
わかりやすいね。



・住たくやマンション
・行徳や大野に、
住たくやマントン
がふえた。

・いろいろな公共
しせつがたてられた。

・南行徳や妙典に、
住たくやマンション
ができる。

・水田やはす田は、
ほとんどみられなく
なった。

・武藏野線が開通
して、市川大野駅が
できた。

・京葉線・北総鉄道・
地下鉄新宿線が
開通した。

・外かん自動車道が
開通した。

これから先、市川市のようすや市でくらす人々の生
活は、どのようにかわっていくのでしょうか。みんな
で市川市の未来についても話し合ってみましょう。